

## 【本教材について】

- テーマ： 1. 防災リーダーの役割／住民(構成員)の自助意識を高めるには
- 単元名： 1. 自主防災組織の役割
- 所要時間： 30分程度
- 準備：
  1. ワークで使用する資料とボールペン1本を参加者に配布して下さい。
  2. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性（自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど）に応じて、内容の追加・削減や修正・変更を検討することで、より良い研修効果が期待できます。
  3. **黄色い網掛け部分**は、自治体で定めている事項に合わせてください。  
※網掛けのないページ、文章・図表も、必要に応じてカスタマイズしてください。
  4. 自治体の防災に関する支援・助成制度に関する説明を追加する等、カスタマイズを検討するとよりよい効果が期待できます。

自主防災組織等のリーダー育成研修

《 テーマ1 》

防災リーダーの役割／住民(構成員)の  
自助意識を高めるには

# 1. 自主防災組織の役割

# 学習目標と内容

## <学習目標>

- 自主防災組織の役割を理解できる
- 「自助」と「共助」で地域を守ることの必要性を理解できる

## <目次>

- (1) 自主防災組織の必要性と役割

# (1) 自主防災組織の必要性和役割

# 自主防災組織とは

自主防災組織とは、自主的に結成された地域の  
防災活動の中核となる組織

- ✓ 過去の災害体験や大地震発生の予想、ニュースの災害情報などをきっかけとして、防災意識が高まり、自治会等の既存の団体をベースに結成されることが多い

## 目的

自分たちの地域は  
自分たちで守る

## 目標

災害による被害を  
予防し、軽減する  
**(自助・共助の力  
を高める)**

## 活動

防災教育、避難行動  
要支援者対策、  
避難所運営など

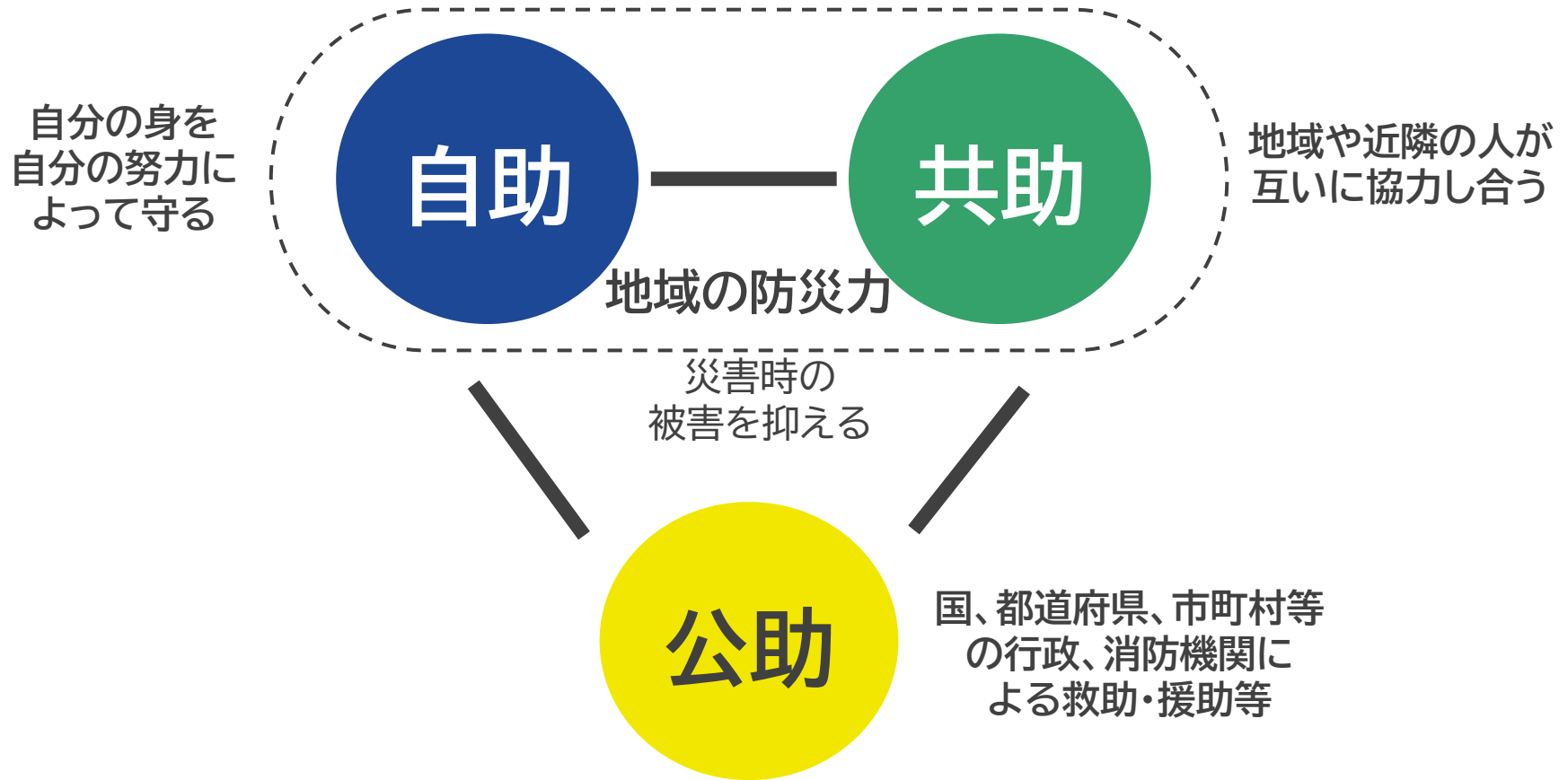
※地域によって様々

※自主防災組織の活動に対する補償制度

安心して自主防災組織等の活動を行う為の補償制度がある自治体もある

(例: 岐阜県各務原市<sup>かかみがはら</sup>「まちづくり活動補償制度」)

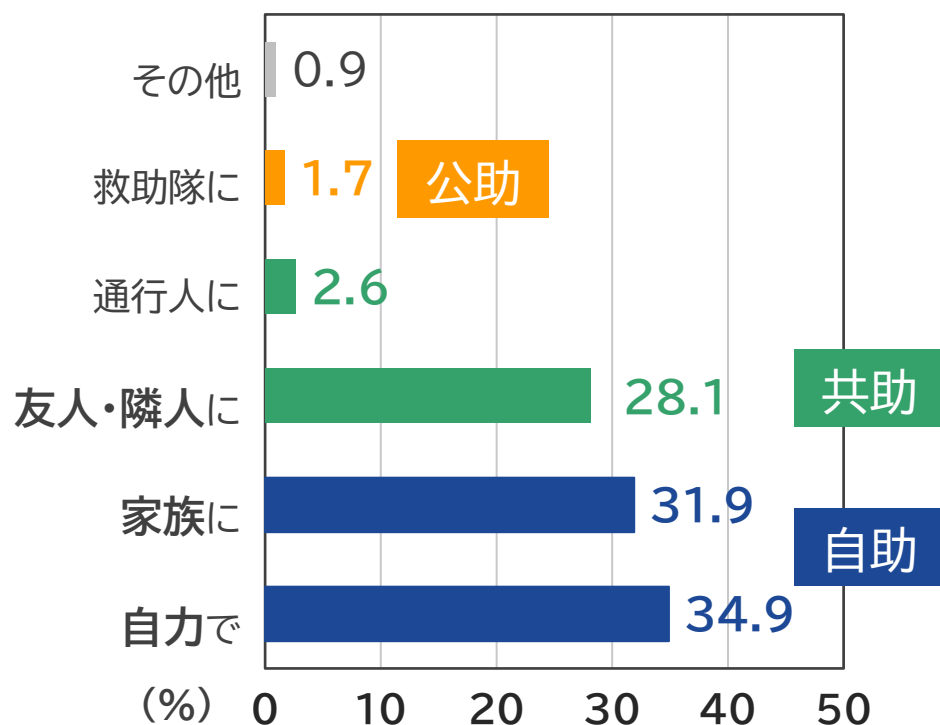
# 自助・共助・公助とは



「自助」「共助」「公助」が有機的につながることにより、  
被害の軽減を図ることができる

## 【事例】被災地における対応の実態(救助活動)

阪神・淡路大震災において、倒壊家屋から救助したのは  
 自助が66.8%、共助が30.7%、公助は2%足らず



阪神・淡路大震災における  
 倒壊家屋からの救助活動の主体

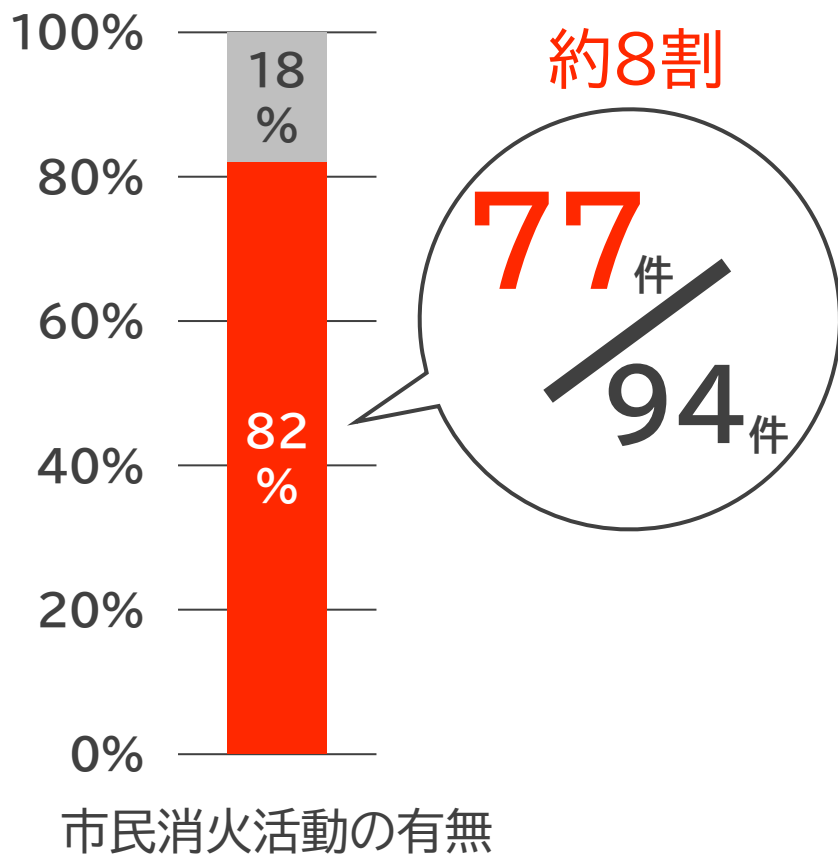
災害時(特に直後)は  
 「**公助**」が間に合わない



直後は  
 「**自助**」と「**共助**」で  
 守り抜く必要

## 【事例】被災地における対応の実態(消火活動)

阪神・淡路大震災時に、神戸市内で、調査した94か所の火災現場のうち、約8割の77か所で市民消火活動が展開された



### 長田区西代市場火災

**自治会リーダー**の呼びかけで、200人以上のバケツリレー倒壊家屋を動かし延焼防止

### 東灘区御影西町火災

**子ども**を含む約300人がバケツリレー

### 長田区東尻池町火災

**近隣企業**からポンプ、ホースなどの提供を受けて活用

## 自助・共助の重要性

災害時(特に直後)は、「公助」の活動には限界がある

### ● 公助の限界

大規模広域災害の発災時には・・・

- ✓ 行政が全ての被災者を迅速に支援することが難しい
- ✓ 行政自身が被災して機能が麻痺するような場合がある



「自助」と「共助」の力を発揮することが重要

## 【事例】実際の災害時における共助

### ■地域ぐるみでの避難体制（東広島市黒瀬町洋国団地:広島県）

- 平成30年7月豪雨で土石流による被害を受けたが、住民で支え合って事前に避難したため、死者やけが人がゼロだった。
- 要配慮者を含む7名が避難準備の発令前に自主的に避難した。この時、自治会で事前に決めていた要配慮者を支援する担当者が避難の補助をした。
- 平成26年の災害を受け、防災に関する取組をはじめ、緊急告知ラジオの設置や民生委員等による高齢者・障害者の避難を支援する担当を事前に決めていた。



自主防災組織は  
「自助」と「共助」の力を  
発揮させるために  
なにができるでしょうか？

# 自主防災組織の役割

日頃から「自助力」と「共助力」を高める

**自助力**

各家庭での防災対策の促進



**共助力**

地域の災害対応力の向上



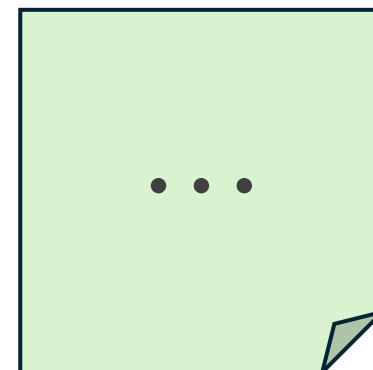
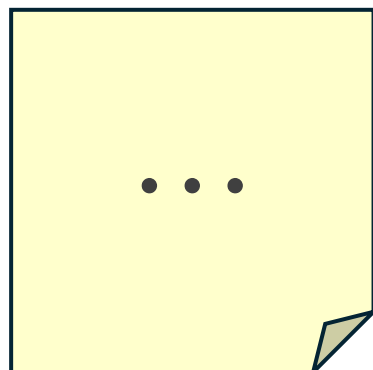
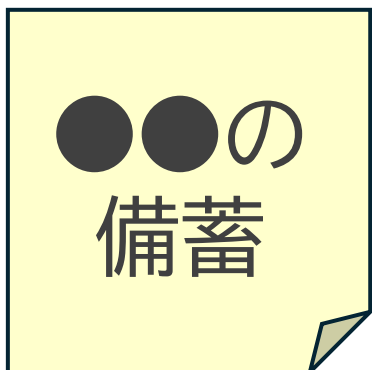
基本的には各個人が「自助」の意識をもつことが重要

普段、皆さんは  
災害に備えてどんなことに  
取り組んでいますか？

## 【個人ワーク】普段、取り組んでいる活動を書き出す

普段、取り組んでいる活動を  
自助・共助の視点で付箋紙に書いてください














- ✓ 付箋紙1枚に、1つの項目
- ✓ 黄色付箋紙に自助、緑付箋紙に共助の内容を書く
- ✓ 思いつく限り書き出す



# 【グループワーク】共有し、整理する

## <グループ共有>

- ✓ グループ内で、結果を共有してください
- ✓ 内容を紹介しながら、模造紙に整理してください。

	●●さん	●●さん	●●さん	●●さん
自助の内容	 		 	 
共助の内容		 		 

# 発表

# 「自助力」を高めるポイント

## 1 災害に対する正しい理解

- ✓ 災害の被害と影響を理解しておく
- ✓ 災害時の正しい対応を理解しておく



## 2 個人・家庭での備え

- ✓ 個人・家庭で安心・安全に生活を送る備えをしておく



## 3 研修・訓練を通じた実行力の強化

- ✓ 研修・訓練に参加し、実行力を高めておく



# 「共助力」を高めるポイント

## 1 顔の見える関係づくり

- ✓ いざという時に助け合えるように、地域内で顔の見える関係をつくっておく



## 2 役割分担・組織体制づくり

- ✓ 災害時にスムーズな対応をするため、事前に地域内で役割分担を決めておく



## 3 研修・訓練を通じた実行力の強化

- ✓ 研修・訓練を実施し、実行力を高めておく



## まとめ

- 「自助」「共助」「公助」の3つがそれぞれの力を発揮することで、被害の軽減に繋がる
- 特に発災直後は地域内の「自助」と「共助」で命を守ることが大切
- 自主防災組織は、地域において災害による被害を予防・軽減するための活動を行う